

ハーモニー

Harmony

第47号 2008年9月8日発行
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

目 次

第16回学術集会プログラム	2
学術集会（岡山）の企画紹介	5
日本養護教諭教育学会2008年度総会告示	5
本学会初めての役員選挙管理業務に取り組んで	6
トピックス	
学校保健法を改正する法律が公布されました	6
特別企画	
—私の県の「ここが特色」⑦	
千葉県の新規採用養護教諭の指導	7
新・特別企画	
—「私の実践と研究」リレー・レポート⑤	
生徒保健委員会を中心とした健康教育	8
学会誌第12巻第1号投稿原稿受付中	
～締め切り迫る～	8
理事会からのお知らせ	8
編集後記	8

日本養護教諭教育学会 第16回学術集会プログラム

メインテーマ：養護実践における理論構築－「からだをみる」を科学する－

期 日：平成20年10月18日（土）12時30分～10月19日（日）16時

会 場：岡山大学創立五十周年記念館

〒700-8530 岡山市津島中1-1-1 TEL 086-251-7057（記念館事務室）

- アクセス *バス 岡山駅（JR東口）→岡電バス「岡山大学・妙善寺」行→「岡大西門」下車 徒歩2分
岡山駅（JR西口）→岡電バス「岡山大学・岡山理科大学」行→「岡大西門」下車 徒歩2分
*JR 岡山駅（JR津山線）→法界院駅 →徒歩20分
*タクシー JR岡山駅－タクシー（約10分）
*空港 岡山空港－（空港バス）JR岡山駅まで（約30分）

10月18日（土）9:40～受付

◇プレコンgres（10:00～11:30）第2会場……………司会 鈴木裕子（学会理事）

1「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」についての意見交流－パート2－

第3会場……………司会 鎌田尚子（学会理事）

2「養護教諭の職業倫理」に関する意見交流

◇学会長基調講演（12:30～13:00）第1会場……………座長 三木とみ子（女子栄養大学）

「養護実践における理論構築－『からだをみる』を科学する－ 高橋香代（岡山大学）

◇特別講演（13:10～14:20）第1会場……………座長 門田新一郎（岡山大学）

「熱中症を科学する」

伊藤武彦（岡山大学）

◇シンポジウムI（14:30～16:30）第1会場……………コーディネーター 岡田加奈子（千葉大学）

三村由香里（岡山大学）

「養護教諭がからだをみる視点」

シンポジスト：瀬口久美代（熊本大学教育学部附属小学校）「健康観察において」

遠藤伸子（女子栄養大学）「健康相談活動において」

松枝睦美（岡山大学）「救急処置において」

◇ワークショップ「養護教諭のコーディネート力」（16:40～18:00）第1、2、3会場

①WS1「学校内連携」 鈴木薫（岡山大学教育学部附属小学校）

指定発言者 徳山美智子（大阪女子短期大学）

②WS2「専門機関との連携－発達障害、慢性疾患を持つ子どもへの対応－」

津島ひろ江（川崎医療福祉大学）

指定発言者 荒木田美香子（国際医療福祉大学）

③WS3「地域との連携」 平松恵子（岡山県立岡山芳泉高等学校）

指定発言者 鎌田尚子（女子栄養大学）

10月19日（日）8:15～受付

第1会場

◇一般演題（8:45～11:00）

口演1（8:45～9:30）……………座長 竹鼻ゆかり（東京学芸大学）

I-1 現代における、養護教諭の職務内容と特色について

－「保健室・養護教諭の一日」の観察調査を通して－ ○菱沼ゆう（仙台市立向陽台中学校）

- I-2 養護教諭の職務に対する意識に関する調査研究
 -健康状態との関連に着目して- ○岸本由香里(川崎市立土橋小学校)他
- I-3 養護教諭の職務への自己効力感の要因
 -新たに開発した自己効力感尺度を用いて- ○豊島幸子(群馬県立勢多農林高等学校)他

- 口演2(9:30~10:15)..... 座長 葛西敦子(弘前大学)
- I-4 中学生へのアンガーマネジメント教育の試み ○佐野悦子(名古屋市立前津中学校)
- I-5 中学生の日常におけるストレスの実態に関する研究
 -生活習慣や対人不安との関連について- ○佐藤寛子(北翔大学)他
- I-6 小学校6年生における唾液中アミラーゼ活性値と
 ストレスとの関連について ○渡邊敦子(女子栄養大学)他

- 口演3(10:15~11:00)..... 座長 竹田由美子(東京福祉大学)
- I-7 養護教諭のケアリング行動に関する研究-その概念的枠組みの構築-
 ○宮崎久美子(土佐塾中高等学校)
- I-8 養護教諭の看護力と保護者からのクレーム(第1報) ○永石喜代子(鈴鹿短期大学)他
- I-9 養護教諭の看護力とモンスターペアレントの分析(第2報) ○辻立世(兵庫大学)他

- ◇学会助成研究(11:10~12:00)第1会場..... 座長 中安紀美子(徳島文理大学)
 貴志知恵子(徳島県立徳島北高等学校)
- 「養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの検討(第2報)
 -学内・学外における系統的な実習のあり方-」 ○今野洋子(北翔大学)他
- 「養護教諭の行う救急判断のためのエビデンス構築に向けての研究
 -頭部外傷時の救急判断において-」 ○三村由香里(岡山大学)他

- ◇ランチョンセミナー(12:10~13:00)第1会場..... 座長 中桐佐智子(藍野大学)
 「学校健診でみる『からだ』~健診からわかる正常・異常~」
 小倉俊郎(岡山大学保健管理センター)

◇総会(13:10~14:10) 第1会場

- ◇シンポジウムII(14:20~15:50)「養護教諭がコーディネート力を育てるには」第1会場
 コーディネーター 後藤ひとみ(愛知教育大学)
 田嶋八千代(岡山大学)

第2会場

◇一般演題(8:45~11:45)

- 口演4(8:45~9:30)..... 座長 斉藤ふくみ(茨城大学)
- II-1 養護教諭の資質の向上に関する一考察 -0県養護教諭に関わる調査から-
 ○平松恵子(岡山県立岡山芳泉高等学校)他
- II-2 保健主事の任用別にみた養護教諭の執務の状況
 -0県養護教諭に関わる調査から- ○野々上敬子(岡山市立芳泉中学校)他
- II-3 特別な支援を要する児童生徒の有無別にみた養護教諭の執務の状況
 -0県養護教諭に関わる調査から- ○田村裕子(岡山県立岡山城東高等学校)他

- 口演5(9:30~10:15)..... 座長 林典子(愛知教育大学大学院)
- II-4 養護教諭の健康相談活動の自己評価に関する研究

- 異なる背景の養護教諭群の比較— ○西岡かおり（四国大学）他
- Ⅱ－5 病弱支援学校に在籍する喘息のある児童生徒に対するPFメーターを活用した復学支援に関する一考察
○池川典子（大阪府立泉北高等支援学校）他
- Ⅱ－6 養護教諭による中学生への表現活動の試みに関する一考察
○野川真弓（北九州市立南小倉中学校）

- 口演6(10:15～11:00) …………… 座長 小林央美（弘前大学）
- Ⅱ－7 幼稚園4歳児のおやつと歯ブラシの実態調査 ○米野吉則（兵庫大学付属加古川幼稚園）他
- Ⅱ－8 実践化をすすめる虫歯予防指導 ○坂井敬子（大川市宮前小学校）
- Ⅱ－9 知的障害特別支援学校における養護教諭の歯や口の指導に対しての意識及び実態の把握と指導のあり方に関する研究
○岩崎和子（女子栄養大学大学院）他

- 口演7(11:00～11:45) …………… 座長 北口和美（大阪教育大学）
- Ⅱ－10 学校における心臓検診と危機管理－症例をとおして考える－
○安藝敦子（徳島文理中高等学校）他
- Ⅱ－11 喫煙予防教育システムの構築と養護教諭の役割に関する一考察 ○安林幹翁（中部大学）他
- Ⅱ－12 カフェテリア方式性教育における実践の評価に関する研究
○江崎和子（京都市教育相談総合センター）

第3会場

◇一般演題(8:45～11:15)

- 口演8(8:45～9:30) …………… 座長 鈴木裕子（国士舘大学）
- Ⅲ－1 昭和前期における女子師範学校の学校看護婦養成 ○杉浦守邦（山形大学）
- Ⅲ－2 「養護」概念の養護社会学的検討－養護教諭成立史と職務の変遷から－
○安林奈緒美（飯田女子短期大学）
- Ⅲ－3 養護教諭の職業倫理に関する文献研究 ○鎌田尚子（女子栄養大学）他

- 口演9(9:30～10:30) …………… 座長 山崎隆恵（神奈川県立綾瀬西高等学校）
- Ⅲ－4 起立性調節障害(OD)症状と心身の健康の関連
－高校生を対象とした横断的研究－ ○貴志知恵子（徳島県立徳島北高等学校）
- Ⅲ－5 保健室登校を経験した生徒の教室復帰に至るまでの気持ちの変化
○阿部康子（愛媛県立内子高等学校）他
- Ⅲ－6 ピア・サポートプログラムが高校生に及ぼす成長発達効果（続報）
－心理尺度による量的検証－ ○近藤充代（愛知県立豊橋工業高等学校）
- Ⅲ－7 大学生の振り返りから観た保健室観・養護教諭観 ○石川フカエ（福岡県立大学）他

- 口演10(10:30～11:15) …………… 座長 中下富子（埼玉大学）
- Ⅲ－8 発達障害をもつ児童生徒の実態と養護教諭の対応
○垣内真規子（川崎医療福祉大学大学院）他
- Ⅲ－9 発達障害をもつ児童生徒の定期健康診断における養護教諭の対応
－通常学級に在籍する児童生徒を中心として－ ○池永理恵子（福山市立至誠中学校）他
- Ⅲ－10 健康診断の視覚的構造化に関する一考察
○大家さとみ（佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校）

第4会場

◇ポスターセッション(8:45～11:00)

- ポスター1 (8:45～9:30) …………… 座長 今野洋子 (北翔大学)
- P-1 養護教諭養成教育のあり方に関する研究—入試との関連を中心に—
○内田裕子 (岡山大学大学院)
- P-2 養護教諭養成課程における「看護学Ⅰ」の試み ○筒井康子 (九州女子短期大学)
- P-3 養護実習前後における学生の変化に関する研究
—健康相談活動及び救急処置活動の能力に着目して— ○照井沙彩 (北翔大学) 他
- ポスター2 (9:30～10:15) …………… 座長 本田優子 (熊本大学)
- P-4 養護教諭養成教育の臨床実習のあり方 (第2報) —評価基準作成の試み—
○石田妙美 (東海学園大学) 他
- P-5 養護教諭養成課程における「特別支援教育」の授業実践に関する研究
○角田智恵美 (九州女子短期大学) 他
- P-6 特別支援教育における「個別の指導計画」作成のための校内ワークショップ型研修の試み
○古角好美 (大阪市立桃陽小学校)
- ポスター3 (10:15～11:00) …………… 座長 河田史宝 (茨城大学)
- P-7 北海道における養護教諭養成の歴史に関する研究 (第1報) ○春日篤美 (北翔大学) 他
- P-8 養護教諭の「連携」に関する文献的考察 ○田村恭子 (上越教育大学大学院) 他
- P-9 養護教諭の行う「コーディネーション活動」に関する実践内容の検討
—0県養護教諭を対象とした調査から— ○難波知子 (川崎医療福祉大学)

～．

学術集会(岡山)の企画紹介

学会長 高橋香代

岡山で開催する日本養護教諭教育学会も間近となり、事務局員一同、準備に追われる毎日です。

第16回学術集会のメインテーマは「養護実践における理論構築—『からだをみる』を科学する—」としました。養護実践の中で理論を構築する学術集会を願って、シンポジウムなどのプログラムを企画しました。

1日目は、まず学会長が、メインテーマの趣旨で前座をつとめます。次いで、特別講演は、岡山大学の伊藤武彦教授の「熱中症を科学する」です。近年、増加している熱中症について、増加の要因や、大学の部活動や学校現場での具体的なデータ、海外の文献など多彩な資料を用いて、養護教諭の役割は何かについて講演をしていただきます。乞うご期待。

シンポジウムⅠは「養護教諭がからだをみる視点」です。メインテーマを受けて、日々の健康観察、健康相談活動、救急処置のなかで養護教諭が子どものからだをどう

みているか、また、みていくべきかを話し合う機会としたいと思います。シンポジストの皆さんは、子どものからだを、医師や看護師とは異なる養護教諭の目線から、医療現場ではない学校現場におけるデータから、議論を展開してくださると思います。フロアの皆様と一緒にあった活発な議論を期待しています。

「からだをみる」で把握した実態にあわせて、的確な養護実践を行う上で問われるのが養護教諭のコーディネート力です。ワークショップ「養護教諭のコーディネート力」では、それを「学校内連携」「専門機関との連携」「地域との連携」の3つのセッションで、参加者の実践から話しあっていただきます。

1日目のワークショップ終了後、懇親会を開催します。挨拶は少なくして、岡山を満喫していただき、ネットワーキングづくりに役立つ懇親会を目指しています。

一般演題は、2日目の午前に行います。40題(口演31題、ポスター9題)の申し込みがあり嬉しい悲鳴をあげましたが、会場の関係で口演時間が短くなったことをお詫びいたします。

学会助成研究は、「養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの検討(第2報)—学内・学外における系統的な実習のあり方—」と、「養護教諭の行う救急判断のためのエビデンス構築に向け

での研究「頭部外傷時の救急判断において」の発表を行います。

ランチョンセミナーは、岡山大学保健管理センターの小倉俊郎教授に、「学校健診でみる『からだ』～健診からわかる正常・異常～」と題して、分かりやすく面白い講演をお願いしました。

2日目の最後に、1日目のワークショップでの議論をふまえて、シンポジウムⅡ「養護教諭がコーディネート力を育てるには」を行います。コーディネート力を育てていくための具体的な議論が、明日からの養護実践につながることを期待しています。

1日目の学会前には、昨年度好評であったプレコングレスを引き続き開催します。テーマは、①「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」についての意見交流－パート2－、②「養護教諭の職業倫理」に関する意見交流の二つです。司会を鈴木裕子理事と、鎌田尚子理事をお願いしました。プレコングレスの、自由に本音で話し合う時間を大切にしていきたいと思います。

10月の岡山大学では、改修した時計台の前で樫の木が赤く燃え、南北道路のいちょう並木が色づきます。全国の会員の皆様には、学会だけでなく、秋の岡山の色彩も楽しんでいただきたいと思います。

日本養護教諭教育学会

－ 2008 年度総会告示－

理事長 後藤ひとみ

下記の日程で2008年度総会を開催します。欠席される方は、同封の委任状をご送付下さい。

- ◇日時 2008年10月19日(日)
- ◇場所 岡山大学創立五十周年記念館
13:30～14:30
- ◇議題 1. 2007年度事業報告
2. 2007年度決算報告
3. 2008年度事業経過報告
4. 2009年度事業計画
5. 2009年度予算審議
6. 研究助成金対象研究の選定報告
7. 日本養護教諭教育学会会則実施細則等の改正
8. 役員選挙結果の報告
9. その他

本学会初めての役員選挙 管理業務に取り組んで

選挙管理委員長 吉田瑠美子

本学会では設立以来役員の選出は推薦制で行われてきましたが、2006年の総会で選挙制に変更することが提案され、翌年には「実施細則」並びに「役員選出に関する内規」が規定されたのは周知の通りです。

このことにより2009年度の新理事選出に向け選挙管理業務が動き出しました。

内規により「北海道・東北」と「関東」ブロックから合わせて4名の選挙管理委員が任命され、昨年12月に第1回委員会が開催されました。選挙に向けての業務内容や日程、役割分担等を決め、公正な選挙になるように委員の決意も新たに選挙業務の取り組みがスタートしたのです。

本学会初めての選挙となるだけに白紙状態の中での作業は、先ず実施細則や内規に書かれた内容を理解することから始まりました。

顔を合わせての話し合いであれば共通理解も容易であったろうと思われそうですが、EメールやFAX、電話でのやりとりでは意見統一に時間を要したり、時には受け取りの誤り、意見のくい違いなど難しい経験もいたしました。これは理事会との関係においてもしかりであります。

今後に向けては、内規をより具体的に設定する必要があるように感じています。

選挙管理業務は会員の皆様の協力をいただきながら、いよいよ最終段階である開票・集計、理事受諾の確認、そして10月総会での公表を残すのみとなりました。

ここに至る間には様々な反省点が明らかになりました。それらをきちんと記録に残すことによって次回選挙に向けてのよりよい基礎固めができるのではないかと考えております。

トピックス

学校保健法を改正する法律が 公布されました

鈴木 裕子 (国士館大学文学部教育学科)

かねてから話題になっていた「学校保健法等の一部を改正する法律」が6月18日に公布され、各都道府県教育委員会等には7月9日付で文部科学省ス

ポーツ・青少年局長から通知が発出されました。施行は来年2009年4月1日となります。

これにより学校保健法は「学校保健安全法」と改称されることとなりました。これは1958年の制定以来50年ぶりの全面的な改正ということができます。

新しい学校保健安全法の主な改正点を養護教諭の視点で簡単にまとめると、次のようになります。(下線は筆者。今回加筆された用語に注目した。)

○総則、学校保健、雑則に加えて「学校安全」の章が新設され、4つの章で構成されることとなった。

○国及び地方公共団体の責務、学校の設置者の責務が明記された。

○これまで局長裁定のガイドラインだった「学校環境衛生基準」を、大臣が定め告示するものとした。

○学校には「健康診断」、「健康相談」、「保健指導」、「救急処置」、「その他の保健に関する措置」を行うため、保健室を設けるものとされた。

○「健康相談」が、「健康診断」の項から分離独立した形となり、学校においては児童生徒等の心身の健康に関し、健康相談を行うものとされた。

○「健康相談等」の節の中に「保健指導」が新設された。またその中に初めて健康観察や保護者への助言についても明記された。本文は次のとおり。

「養護教諭その他の職員は、相互に連携して健康相談または児童生徒等の健康状態の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者に対して必要な助言を行うものとする。

○同じく「健康相談等」の節の中に「地域の医療機関との連携」が新設され、学校においては、救急処置、健康相談または保健指導を行うに当たって、必要に応じ、地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとされた。

○「伝染病の予防」が「感染症の予防」に改められた。
○学校は、学校保健計画とは別に、安全点検や通学を含めた学校生活等の安全に関する指導、教職員の研修等について学校安全計画を策定し、実施しなければならないとされた。

○学校は、危険等発生時対処要領を作成し、職員の取るべき措置を定めるものとした。また事故等により児童生徒その他の関係者等に心理的外傷等が生じた場合、必要な支援を行うものとされた。

○学校は児童生徒等の安全確保のため、保護者との連携、地域の警察署その他の関係機関、関係団体、地域住民との連携を図るよう努めるものとされた。

また今回、「学校給食法」の一部改正もなされました。学校給食の目的が、食育の推進の観点で踏まえたものに改められ、「学校給食実施基準」「学校給食衛生管理基準」を大臣が定めることとなりました。また栄養教諭が、学校給食を活用した食に関する実践的な指導を行うものとし、校長はその指導が効果的に行われるよう、食に関する指導の全体計画を作成するものとされました。

以上、特に養護教諭関連に着目して概観しましたが、これらの内容から、養護教諭は、関係教職員や地域の医療機関と連携して健康相談(※注)や保健指導等を行う際に中心的な役割を果たすことが求められていると考えられます。今後改正される関係政省令についてもさらに注目していきたいものです。

注：通知の中で健康相談は、特定の教職員に限らず、養護教諭、学校医、担任教諭など関係教職員による積極的な参画が求められるとされている。

特別企画 私の県の「ここが特色」⑦

千葉県の新規採用養護教諭の指導

出原嘉代子(聖徳大学短期大学部非常勤講師)

平成20年度から千葉県の新規採用養護教諭の指導者として少し働いている。この仕事は年間23時間と決められているため、勤務校からの希望もあり、1日4時間が4日間、7時間を1日勤務する。5月に辞令が出てそれから行動開始。これまで7時間が1日、4時間を2日間行った。新規採用者には県として新規採用者養護教諭研修会が年間11日ある。そこで理論的なことなど学ぶと考え、実際の現場で、今困ったり、問題となっていることを中心に取り上げてきた。実際には保健室経営の基盤となる保健室のレイアウトについて、どのようにすればよいのか等にかかなりの労力と時間を費やした。どこをどうすれば効果的な保健室経営ができるか、新卒養護教諭にとっては大きな課題であることが推測された。これまで、新規採用養護教諭への指導で効果的だったことは、健康相談活動の進め方である。私が問診票を用いて子どもに対応している様子を見て、新卒養護教諭は後日、来室した子どもに対し、問診票を活用した対応を行い、子どもの問題点を見つけ、すぐ担任と連携し、家庭連絡をとったことで重大な疾病が発見されたのである。このように現場での今に、ここでの指導はかなり効果をもたらしている。

今後の課題としては、①辞令の出るのが、5月と遅いため、4月の健康診断に間に合わないこと、②指導時間が一般教員の週1日に対し、養護教諭は年間23時間という短いことがあげられる。今後この点の改善が望まれる。

新・特別企画

『私の実践と研究』リレーレポート⑤

生徒保健委員会を中心とした 健康教育

齊藤理砂子（千葉市立真砂第一中学校）

私は現在、生徒が主体となる健康教育のあり方について研究をしている。健康の自己管理能力を育てるためには、様々な情報があふれている現代では、教員の一方的な保健指導や生徒の受動的な活動のみではなく、生徒同士の学び合いや様々な体験の中から気づき、能動的に培っていく必要があると考えたからである。

そこで特別活動の時間を活用し、保健委員が中心となった健康教育を行うことを試みた。保健委員会の活動を全校の生徒会活動だけに留まらず、各学級活動へのつながりを持たせ、学級で保健委員が率先して級友の健康を保ち、お互いに高め合えることを目的とした。

保健委員会では、主に本校の健康の実態を把握するためのアンケートの作成、調査・集計、明確化された健康課題に向けての啓発活動、評価を行った。生徒が意欲的、自主的に取り組めるように、予め委員長・副委員長と担当の教員が打合せをするなどして、保健委員会が生徒主体の活動となるように支援した。また調査・集計は、各学級の保健委員が自分の学級の実態について知ること、健康の意識を高めることを目的として、学級ごとにその保健委員が行った。今回行った保健委員によるアンケート調査からは、友人との人間関係で悩み、体調を崩している生徒が多くいることが本校の健康課題であることが明確になった。このことは、教育活動全般や保健室利用状況からも同様に感じていたことだった。次に、アンケート調査によって明確化された健康課題に向けて「自分たちができることは何か」を検討し、生徒集会で対人関係に関する内容の発表を行った。発表後の評価（アンケート結果）からは、生徒たちのコミュニケーションに関する意識の変容がみられた。さらに、保健委員が自ら他の生徒たちに健康に関する言葉かけをするなどして、生徒同士で気付き、学び合おうとしている姿も伺えた。

今後も生徒が主体となり、生徒同士で学び合い、お互いに高め合えるような環境づくり、活動を考えていきたい。

学会誌第12巻第1号投稿原稿受付中 ～締め切り迫る～

「日本養護教諭教育学会誌」第12巻第1号の原稿を募集しています。原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、研究ノート、資料、その他です。

年間を通して受け付けていますが、第12巻第1号の原稿の最終締め切りは、2008年9月30日（火）です。期日が迫っていますので、会員の皆様は奮って、下記の編集委員会事務局へご投稿ください。詳細については学会誌第11巻第1号に掲載の「投稿規定最終改正2006年10月9日」、または学会HPをご覧ください。

ご不明な点がございましたら、編集委員会事務局にお問い合わせください。

日本養護教諭教育学会編集委員会事務局

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1
国士館大学文学部教育学科 鈴木研究室
E-Mail: suzukiyu@kokushikan.ac.jp

理事会からのお知らせ

①ハーモニー第46号で募集しました本学会事業「養護教諭の職業倫理に関する規程（仮題）」の検討委員会のメンバーは、以下の方となりました。

○鎌田尚子（女子栄養大学）、竹田由美子（東京福祉大学）、中村朋子（愛知東邦大学）、丸井淑美（狭山市立入間野中学校）、吉田あや子（西南女学院大学）、渡邊教子（大東文化大学第一高等学校）

②会員名簿を作成します。所属に修正のある方は、同封の用紙にて9月30日（火）必着でお知らせください。

編 集 後 記

急に秋めいてきました。豪雨などこれまでみられない気象現象が出てきておりますが、皆様の周囲ではいかがでしょうか。学会でお目にかかれますことを楽しみにしております。（F）

